



水俣病は、脳細胞を含む神経細胞が障害される病気です。特に脳細胞はいったん壊れると元にもどらないと言われています。しかし、リハビリテーションを行うことにより、残った神経細胞どうしのネットワーク(つながり)が復活し、一定程度機能が回復するといわれています。長期間続けてリハビリテーションを行うことにより日常生活能力を維持することができます。

また、障害を持った状態でも、薬物により、その機能を維持するようにしていくこともできます。特に漢方薬は、その人の体質に応じて、全身状態を改善しながら症状をとっていくという特徴があり、水俣病のような慢性的な疾患には有効です。

痛みに対しては、薬物（漢方薬も含む）、注射、物理療法、運動療法など、さまざまな方法が有効ですので、医師と相談して、自分にあった方法を見つけてください。

水俣病に限らず、慢性的な病気というものは、精神的な苦痛をもたらし、生活の質を低下させることが少なくありません。精神症状などに対しては、安定剤や抗うつ剤を含む西洋薬、漢方薬、カウンセリングなどが有効です。

水俣病に関連する生活全般の悩みは当グループにご相談下さい。

*リハビリテーション、カウンセリング、ツボ注射は神経内科リハビリテーション協立クリニックで行っています。

水俣病の治療



神経内科リハビリテーション

協立クリニック

☎ 0966(63)6835

水俣市桜井町 2-2-28

水俣協立病院

☎ 0966(63)1704

水俣市桜井町 2-2-12

治療の紹介

1. 薬物療法

(1) 注射・点滴療法

- ・痛 み：鎮痛剤、局所麻酔薬、神経ブロック
- ・しびれ、ふらつきなど：ナイクリン + ATP 注射
(この注射は、1回～数回おこなう方法と、連日おこなう方法があります)

(2) 内服薬（漢方薬を含む）

- ・こむらがえり：芍薬甘草湯、バクロフェンなど
- ・寝起きの手足の痺れ：桂枝茯苓丸などの漢方薬、ATP、ビタミン剤など
- ・頭 痛：吳茱萸湯、消炎鎮痛剤など
- ・関 节 痛：疼痛部位に応じた漢方薬、消炎鎮痛剤
- ・めまい感、耳鳴り：西洋薬、漢方薬
- ・倦 惰 感：漢方薬など
- ・抑うつ症状：漢方薬、抗うつ剤、安定剤など
- ・不 眠：睡眠薬、安定剤、漢方薬など

(3) 外用薬

- ・パップ剤（貼り薬）
- ・軟膏、液剤、ゲル剤など（塗り薬）

2. つぼ注射

- ・肩、腰、膝など、身体各部の痛みの改善

3. 精神療法

- ・カウンセリング

4. リハビリテーション

(1) 運動療法

- ア. 耐久力
- ・筋 力：器具を用いたり、徒手による強化訓練
- ・持久性：サイクルやエアロビック体操
- イ. 柔軟性
- ・器具を用いたり、徒手によるストレッチング
- ウ. バランスの改善
- ・器具を用いた訓練やリズム、気功体操など

(2) 物理療法

ア. 温熱療法

効能・作用：表在性組織の温度を上昇させて、血液循環、組織伸張性の改善と疼痛緩和

種 類：パラフィン、ホットパック、ホットマグナ

イ. 機械的療法

効能・作用：器械動力作用を適用して、体内、体表の圧力を緩和。骨格の矯正と筋組織の伸張性の改善

種 類：頸椎牽引、腰椎牽引、手浴

ウ. 電磁気療法

効能・作用：電磁エネルギーで周波数や強度を変えることで、疼痛や浮腫をコントロールする

種 類：マイクロウェーブ、エレクトレーナー、スチームレーダー、ベクトロン

物理療法治療器具紹介



パラフィン



ホットパック



エレクトレーナー